

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます

加古川中央市民病院 地域連携情報誌



きらり

vol.27
2020年11月



巻頭言	
遺伝子診療部の開設にあたって	2
診療ドクター紹介	
外科・消化器外科	3
連携医紹介	
西垣医院・木村こころのクリニック	6
地域への情報発信	
新型コロナウイルス感染症	7
連携室ニュース	
加古川中央市民病院	
地域連携セミナーを開催します。	8

特集 4-5

緩和ケア・がん相談 遺伝子診療

遺伝子診療部の開設 にあたって

理事(兼) 副院長(兼) がん集学的治療センター長(兼)
がん相談支援室(兼) 外科 主任科部長(兼)
消化器外科 主任科部長(兼) 遺伝子診療部長

かね だ く に ひ こ

金田邦彦



近年の遺伝子診断の飛躍的進歩に伴い、手術の疾患を遺伝子レベルで解析し治療につなげる遺伝医療が本格化してきました。保険適応となっている遺伝子検査も増加しており、当院でもこのような新たな医療の流れに対応すべく本年4月に遺伝子診療部を開設いたしました。

遺伝子診療部は、臨床遺伝専門医、各診療科医師、遺伝カウンセラーから構成され、遺伝に関する様々な疑問に対して臨床遺伝専門医と遺伝カウンセラーを中心にそれぞれの専門性を生かして遺伝カウンセリングを行う体制をとっています。

対象となる疾患は、小児の先天性疾患や遺伝性神経難病、Fabry病やQT延長症候群等の循環器疾患、遺伝性乳癌・卵巣癌症候群等の遺伝性腫瘍など多岐にわたります。そのため各診療科の医師と臨床遺伝専門医、遺伝カウンセラーが協同して患者さんに対応し、治療における選択肢の決定をサポートしています。特に遺伝性腫瘍が疑われる患者さんにおいては、家族内発症に対するサーベイランスに配慮し、患者さん、血縁者を対象に遺伝カウンセリングを行いその患者さんが置かれている背景を考慮しながら遺伝学的検査を行います。

また当院は、本年4月に国指定のがん診療連携拠点病院に指定されました。国はがんゲノム医療を積極的に推進しており、手術や検査で採取されたがん組織から遺伝子を抽出して、100種類以上の遺伝子の変化を調べる「がん遺伝子パネル検査」が2019年6月から保険適応となりました。当院ではまだパネル検査はできませんが、今後ゲノム医療にも対応ができる体制を作るために兵庫県立がんセンターや神戸大学医学部附属病院等、院外の施設と連携をとり、遺伝子診療部として体制づくりに関わっていきたくと考えております。

地域の先生方には、遺伝病と言われた、家族の病気が遺伝するかどうか心配だ、遺伝子検査の事が良くわからない等、遺伝についての悩みや不安をお持ちの患者さんがおられましたらぜひ遺伝子診療部をご紹介いただければと思います。

外科・消化器外科

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 外科・消化器外科

検索



岸 真示
外科 科副部長(兼)手術部 副部長
(兼)消化器外科 科副部長

【心がけていること】

手術のみならず検査の目的や必要性などできるだけ詳しく説明するように心がけています。

専門分野

消化器外科全般

資格等

日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本静脈経腸栄養学会TNTコース修了、厚生労働省認定臨床研修指導医、医学博士



田中 智浩
外科 科副部長(兼)がん集学的治療センター
手術療法室長(兼)消化器外科 科副部長

【心がけていること】

明石市生まれ、白陵中高・長崎大出身です。神戸大学では脾臓移植の研究をしていましたが、現在大腸の腹腔鏡手術や直腸のロボット手術を中心に診療を行っています。地域の皆様の信頼が得られるよう日々頑張っています!

専門分野

消化器外科

資格等

日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医、厚生労働省認定臨床研修指導医、医学博士



横山 邦雄
外科 科副部長(兼)
消化器外科 科副部長

【心がけていること】

一人ひとり丁寧に説明し、患者さんに最適な医療を提供することを心がけています。

専門分野

消化器外科全般、胃癌、腹腔鏡手術、胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡腹腔鏡共同手術

資格等

日本外科学会外科専門医・専門研修指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本消化器外科学会消化器外科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医、厚生労働省認定臨床研修指導医、医学博士



上月 章史
外科 科副部長(兼)
消化器外科 科副部長

【心がけていること】

患者さんのQOL、社会的背景を考慮しつつ、治療・長期生存を目指して全力を尽くすように心がけています。

専門分野

肝胆膵外科

資格等

日本外科学会外科専門医・専門研修指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本膵臓学会認定指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医、日本腹部救急医学会腹部救急認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、厚生労働省認定臨床研修指導医



阿部 紘一郎
外科 科副部長(兼)
消化器外科 科副部長

高度肥満症に対し腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を、直腸癌に対しロボット支援手術(ダビンチ)を、ヘルニアに対し腹腔鏡下単径ヘルニア手術を主にしています。

【心がけていること】

それぞれの患者さんに合った適切な治療を選択すること、低侵襲で苦痛の少ない治療・手術を行うこと

専門分野

肥満外科、ロボット手術(直腸癌)、ヘルニア

資格等

日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本救急医学会救急科専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、厚生労働省認定臨床研修指導医



西村 透
外科 医長

【心がけていること】

一人ひとりの患者さんに、自分ができることは全て提供すること

専門分野

消化器外科全般、食道癌、感染、緩和医療

資格等

日本外科学会外科専門医・専門研修指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター、厚生労働省認定臨床研修指導医



秋田 真之
外科 医長

【心がけていること】

肝胆膵疾患は難易度の高い手術が多いため、術前検査を詳細に評価して一人ひとりに適切な手術を提供する。最新の知見に常にアンテナを張って、最善の治療を提供する。日常診療で得られた知見を自分からも発信する。

専門分野

消化器外科全般、肝胆膵疾患

資格等

日本外科学会外科専門医、医学博士



前田 詠理
外科 医師

【心がけていること】

患者さんに寄り添った医療を提供できるよう、最善を尽くします。また、女性患者さんの羞恥心などに配慮しつつ診療いたします。

専門分野

消化器外科、肛門科

資格等

日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、内痔核治療法研究会ALTA実施医



加古川中央市民病院 外来担当表 【病診連携医師(●…FAX予約 ◆…WEB予約)】

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
消化器外科	金田 邦彦●◆		岸 真示●◆		金田 邦彦●◆		横山 邦雄●◆		田中 智浩●◆	
	藤本 優果(第1・3・5)	中村 敬多(第2・4)	西村 透		秋田 真之		阿部 紘一郎		上月 章史	
					前田 詠理				神尾 翼(第1・3・5)	滝本 大輔(第2・4)
		森川 達也 ストマ外来		ストマ外来			ストマ外来			



がん集学的治療センター
緩和ケア室 室長
西澤 昭彦

当院は急性期病院で、がんや臓器不全を有する難治性疾患患者が続々と来院されます。その患者さんたちの体と心の苦痛を和らげるケアの一つが緩和ケアであり、病気が診断されたその時から必要とされます。当院の緩和ケアチームでは、医師・看護師・心理師・薬剤師・栄養士・リハビリスタッフ・社会福祉士などが協力して、患者さんに対する具体的なケアの方法を主治医や治療スタッフとともに考えています。2019年度のチーム依頼件数は120件（うち非がん疾患32件）で、依頼内容（重複あり）は、疼痛63件、疼痛以外の身体症状（嘔気・嘔吐、倦怠感、呼吸困難など）87件、精神症状43件、家族ケア32件、倫理的問題（鎮静・意思決定支援など）9件、地域との連携・退院支援25件、その他16件でした。今後も地域がん診療連携拠点病院として、近隣の医療機関、緩和ケア病棟等の皆様と力を合わせて、難治性疾患に悩む患者の皆さんが、自分らしく生活できるようにサポートしていきたいと思ひます。



医療の進歩により煩雑化する中で、患者さんやご家族は様々な選択をし、悩みながら治療の継続、療養生活を送っています。近年、主な療養の場は自宅で、通院で治療を継続することが増えています。そのため、患者さんやご家族が通院でも治療が継続できるサポートが必要となります。その一助として、当院に通院中のがん患者さんやご家族を対象に、がん看護外来を実施しています。疾患に対する理解や思いをお聞きし、個々の価値観や希望を大切に日常生活への支障を最小限にすることを目標にサポートしています。



がん集学的治療センター
緩和ケア室
緩和ケア認定看護師
阪井 美緒

緩和ケアチームでは、今年度よりチームメンバーに公認心理師が加わり、患者さんやご家族の理解、心理面のサポートの強化に取り組んでいます。また、地域がん診療連携拠点病院として、地域における緩和ケアの均てん化を目指し、緩和ケアセンターを開設予定です。地域で安心して患者さんやご家族が過ごせるよう切れ目のない緩和ケアの提供に取り組んでいきたいと思ひます。



がん集学的治療センター
がん相談支援室 がん看護専門看護師
和田 尚子

がん相談支援室では、前年度より国立がん研究センター認定がん専門相談員が加わり、より専門的な相談に対応できる体制を整備しています。近年、国の重要政策の一つである「働き方改革」の実現に向けて、医療機関においても治療と仕事の両立支援が盛んに取り組まれるようになりました。当院では、2020年12月より兵庫県社会保険労務士会と連携して月1回の無料相談会を開催予定であり、仕事に関する法律の専門家に気軽に相談できる環境の整備を進めています。がん患者さんだけでなく非がん患者さん、ご家族も対象とし、院外の方のご相談もお受けしておりますので、お仕事に悩まれる方がおられましたら是非ご紹介ください。



- 【対象】ご自身の治療や、家族の介護・育児があり、仕事との両立に悩んでおられる方
- 【日時】毎月第2水曜日 13:00~16:00
- 【受付方法】完全予約制。079-451-5500（代表）にご連絡いただき、「患者支援センターで両立支援相談会の予約がしたい」とお伝えください。

遺伝子診療



腫瘍・血液内科 主任科部長 (兼)
がん集学的治療センター
副センター長 (兼) 遺伝子診療部副部長
岡村 篤夫

がんの多くは、後天的なゲノム異常（体細胞変異）により発症しますが、遺伝性乳癌・卵巣癌症候群やリンチ症候群に代表される遺伝性腫瘍では、親から子に受け継がれる先天的な遺伝子変異（生殖細胞系列変異）が認められます。変異の有無は、患者さんに対し治療薬を決定するためのコンパニオン診断に用いられるだけでなく、血縁者における遺伝学的背景の存在も明らかにします。遺伝子診療部では、遺伝性腫瘍が疑われる患者さんや血縁者を対象に、遺伝カウンセリングを行うなど全人的配慮を行いながら、遺伝学的検査を実施します。

近年、標準治療がない、あるいは一連の標準治療を終了した難治性固形がんの患者さんを対象に、「がんゲノム医療」が行われるようになってきました。そこでは、がんの組織を用いて数十～数百の遺伝子を同時に調べる「がん遺伝子パネル検査」が行われ、ある特定の遺伝子変異が見つかった場合には、その異常に対し効果が期待できる抗がん薬がないか“臓器横断的”に検討されます。現在「がん遺伝子パネル検査」は、がんゲノム医療中核拠点病院、あるいはがんゲノム医療連携病院でのみ実施可能です。遺伝子診療部を中心に当院の診療体制を整え、来年度にもがんゲノム医療連携病院となることを目指しています。

遺伝子検査を希望される患者さんのご紹介や結果の解釈についてお困りのことがございましたら、ぜひ当診療部までご相談ください。



こどもセンター 副センター長 (兼)
移行期医療調整室長 (兼) 小児科 科部長 (兼)
遺伝子診療部副部長
西山 敦史

遺伝子診療部では遺伝に関する様々な診療を行っております。臨床遺伝専門医を中心として各専門分野の医師や遺伝カウンセラーが協同して先天性疾患や神経疾患など遺伝に関係する疾患についての遺伝カウンセリングを行い、さまざまな選択肢の決定をサポートさせていただきます。また最近では保険適応となっている遺伝子検査も増加しており、遺伝カウンセリングに基づき必要に応じて遺伝学的検査も行います。また当院だけでは対応が難しい場合は、院外の施設とも連携して対応いたします。

地域の先生方におかれましては、遺伝病と言われた、家族の病気が遺伝するか心配だ、遺伝子検査について提案されたがよくわからない、など遺伝についての悩みや不安をお持ちの患者さんがいらっしゃればご紹介頂ければと思います。

また受診したほうがよいか判断に迷われている場合にも、お気軽にご相談ください。



遺伝カウンセラー
佐藤 優

遺伝子診療部では各科の医師や看護師などと協同し、遺伝カウンセリングを行っています。遺伝カウンセリングは、『遺伝性疾患の患者や家族だけでなく、遺伝に関する問題に不安や悩みを持つすべての人に対して』、『疾患の正確な情報を提供するだけでなく、相手が理解・適応するまで寄り添い』、『結論を出すことを目的とするのではなく、結論に至るまでのプロセスを重要を考える』ということが大きな特徴です。指定難病の対象が追加されたことや治療薬の開発などにより、保険で診断可能な遺伝性疾患も増え、一般外来で遺伝の話をする機会も増えてきています。しかし、遺伝については内容が難しく、説明にも時間を要するため、困難感を持つ医療スタッフが多いと伺います。そこで、遺伝

子診療部では担当医と打ち合わせしたのちに、遺伝カウンセリング（初回1時間程度）で適切な情報提供や思いの傾聴などを行い、心理社会的支援を行っています。

実際の遺伝カウンセリング



連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

西垣医院

診療科：整形外科／内科

平成31年1月に西垣医院を継承いたしました院長の島本一紀と申します。私は平成6年に広島大学を卒業し、岡山県にある川崎病院（現 川崎医科大学総合医療センター）整形外科にて20年以上勤務しておりました。整形外科全般、特に膝関節の半月板損傷や靭帯損傷などの関節鏡手術、スポーツ整形外科を専門に診療を行っておりました。当院は私の伯父である前院長の西垣彰夫が昭和42年に開院して以来50年以上地域医療に従事してまいりました。そのため現在も専門科以外の色々な疾患の患者様が受診されます。加古川中央市民病院の先生方にはこれまで大変お世話になっておりますが、今後も病診連携を深め、地域の皆様のかかりつけ医としての役割を果たすべく診療に従事していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



院長 島本 一紀 先生



所在地：高砂市阿弥陀町阿弥陀1173
 駐車場台数：20台

TEL.079-447-1019

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	▲	○	—
午後 16:00~19:00	○	○	○	—	—	—	—

▲…金曜午前 9:00~11:30

木村こころのクリニック

診療科：心療内科／精神科

令和2年10月より加古川駅前に心療内科・精神科「木村こころのクリニック」を開院致しました。平成19年に大阪医科大学を卒業後は、神戸徳州会病院、神戸大学病院でそれぞれ初期研修を終了し、その後は伝統のある東加古川病院で12年間精神科医療を研鑽してきました。これまで培った知識・スキルを総動員し、加古川播磨地域の皆様の心の健康維持に少しでもお役に立てるよう、スタッフ共々尽力していきます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



院長 木村 省吾 先生



所在地：加古川市加古川町寺家町621番地 JA兵庫南ビル1階104

駐車場台数：近隣の2箇所（加古川駅前立体駐車場、Dパーキング加古川駅前第2）の駐車場と提携しております。詳しくはHPをご覧ください。
<https://kimura-kokoro.com/>

TEL.079-497-7572

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:30~13:00	○	○	—	○	○	▲	—
午後 16:30~19:30	○	○	—	○	○	—	—

▲…土曜午前 9:30~13:30

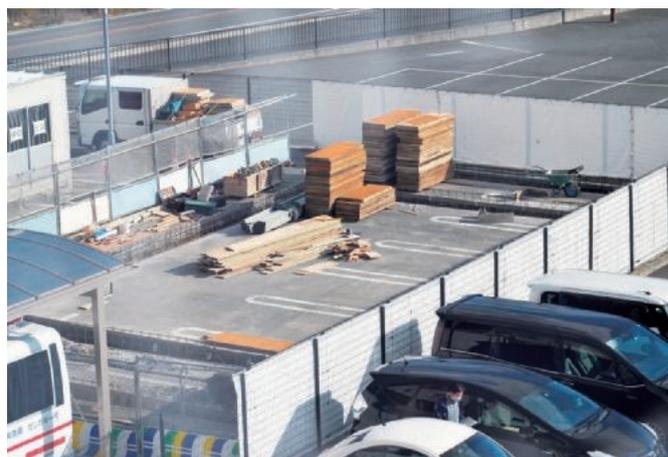
休診日：水曜・土曜午後・日祝・年末年始・夏季休暇
 最終受付：午前12:00 午後19:00 ※土曜の最終受付は午前12:30まで



今なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念され、同時にインフルエンザの流行時期にも差し掛かってきております。当院では引き続き感染防止に向けて取り組んでいます。患者さんにより安心して当院での治療を受けていただけるよう、また地域の医療・介護関係者の皆様にとって信頼される医療を提供できるように努めています。

● 帰国者・接触者外来の増築

病院北側第三駐車場に設置しておりました帰国者・接触者外来のコンテナを一新し、今後インフルエンザの流行に備え、増加が見込まれる発熱症状の患者さんをスムーズに診療できるようにいたします。



● 入院支援窓口が移転しました！

患者支援センター入退院支援室は、外来と入院をつなぐ役割を担っており、入院患者さんが安全かつ安心して入院治療を受けることができるよう、支援を提供しております。予定入院患者さんには、入院前より退院後住み慣れた地域へ早期に戻れるよう、入院前の生活についてお聞きし、病棟看護師や専任のMSW・看護師、地域のケアマネージャーの方々とも連携を図っています。

今年3月からは新型コロナウイルス感染症対策を実施し、さらに8月からは、入院支援窓口を光（きらり）ホールへ移し、入院前問診、対象患者さんの検査（LAMP法）を実施しています。また院内感染防止対策として、健康観察票を用いて、患者さん及びご家族に感染リスク行動の有無を確認しています。

患者さんやご家族の方には、入院前の来院や聞き取りなどの確認が多くなりましたが、ご協力いただきながら、安全を維持できています。





加古川中央市民病院 地域連携セミナーを開催します。

無料Web
セミナー
(Zoom)

本年5月28日に開催を予定しておりました2020年度地域連携会議については、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催の延期をご案内しておりました。

しかしながら、地域の医療機関の皆様との連携強化の一環として、現在の当院の取り組みをご紹介させて頂く場を設けさせていただきました。下記の日程及び内容にて、加古川中央市民病院 地域連携セミナーを開催いたします。

すでに10月中旬、参加申し込みについてご連絡差し上げております。まだ若干数に空きがございますので、参加をご希望される医療関係者の方は加古川中央市民病院 地域連携室（TEL：079-451-8652 直通）までご連絡ください。何卒宜しくお願い申し上げます。

1. 開催予定日：2020年11月19日（木）
2. 開催時間：18時～19時 *Zoomによる無料Webセミナー
3. 内容 ※①～③はLIVE配信 ④～⑦は録画配信

①開会挨拶 (院長 大西祥男)

②「加古川中央市民病院の地域連携の状況について」
(患者支援センター長 潤井誠司郎)

③「新型コロナウイルス感染症に対する当院の取り組み」
(院内感染対策室室長 山根隆志)

④がん集学的治療センターの現況 (がん集学的治療センター長 金田邦彦)

⑤心臓血管センター～当センターのチーム医療について～
(心臓血管センター長 脇山英丘)

⑥こどもセンターの取り組み (こどもセンター長 米谷昌彦)

⑦口唇裂・口蓋裂治療チーム
(形成外科 主任医長 岩谷博篤・歯科口腔外科 医長 福岡裕樹)
(敬称略)

